

私たちは、ゆとりのあるあったかい保育がしたい
変えていこうよ、みんなで

私たちはなぜこうも疲れているのだろう。この10年、保育者を追いつめてきたものの正体と、それでも現場に立つ原動力であり続ける子どものすごさを、全世代の保育者へのリスペクトをこめて発信した「ちいさいなかま」の人気連載が一冊にまとまりました。

巻末には、この先の10年、保育者の願いを社会に広げ、実現していく糸口を探る鼎談も新たに収録。



平松知子(ひらまつともこ)
名古屋市の社会福祉法人熱田福祉会のぎく保育園をへて、同法人けやきの木保育園園長、2022年3月退職。現在、同法人理事長。

このままでは
働き続けることがつらい
保育の仲間たちへ
平松知子 著



四六判並製・208頁

保育者が見つめたこの10年、
保育者が願うこの先の10年



- I 子どもの笑顔を守りたい
- II 安心して働ける職場づくり
- III 親として、働くおとなとして
- IV 制度を変えるのは私たち

鼎談 平松知子×川田学(発達心理学/北海道大学)×藤原辰史(歴史学/京都大学)

給食室カウンターの冒険

パンデミックの二年、現場で起きたことから考えるこれからの社会と保育

定価1,540円(本体1,400円+税) ISBN 978-4-89464-285-0



ひとなる書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-17-13
TEL 03-3811-1372 FAX 03-3811-1383

ホームページ <http://hitorarushobo.jp>

きりと線

*小社出版物のお求めは、この注文カードにて、こどものとも社、最寄の書店または小社までお願いします。 ご注文日 年 月 日

注文カード	書店印	ひとなる書房 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-17-13 TEL 03-3811-1372 FAX 03-3811-1383		
	書名	このままでは働き続けることがつらい 保育の仲間たちへ	平松知子●著	冊
	お名前	お電話 ()		
	ご担当 ()様	ご住所 〒		